

「あいち海上の森大学に参加して」第一期生の声

愛知万博の理念や成果を継承し、発展させるため、海上の森を舞台とした人材育成を目的とし、「あいち海上の森大学」が昨年9月に開校しました。3月に「森林再生コース」「国際交流コース」「市民参加コース」の3コース計34名の第一期生が巣立ちます。受講生に感想と抱負を伺いました。

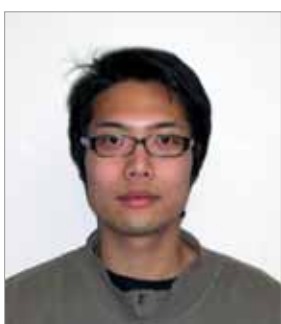
森林再生コース 今井 正巳さん



「あいち海上の森大学」を受講させていただき、関係者の方々に感謝申し上げます。私は三菱電機株式会社名古屋製作所から参加させていただきました。

我社は県の募集による「企業の森づくり」として県有林で活動する機会を与えていただきました。そんな中で講義・実習の機会をいただきました。特に印象的だったのは、海上の森センター遊歩施設で、雑木林の常緑樹を手入れする実地実習でした。今回習得させていただいた自然との共生を、県有林に活かしたいと思っています。

国際交流コース 孫 偉(ソン イ)さん



「あいち海上の森大学」に参加させていただき、とても光栄に思います。近年、日中両国の関係は、益々親密になり、文化、科学など様々な分野について交流を深めています。

中国は経済成長を続ける一方で環境の分野に関してはまだ不十分であり、CO₂の排出や水質汚染や農薬の使用など、環境問題が深刻です。今回この講義を受けて中国の環境問題について新たな認識を身につけ、日本のような先進国で行われている環境問題の対策に対して感銘を受けました。これから私は日本で勉強に励み専門的な知識を習得し、帰国してから、勉強した知識を社会に広めたいと思います。

市民参加コース 小林 直美さん



毎日「森のたんけんたい」の森のようちえんの子供達と過ごす森。その森についてもっと深く知りたいと「市民参加コース」を受講しました。環境分野の

第一線で活躍する講師陣から広い視野で、環境について、自然と人間とのかかわりについて学ぶことができ、自然への興味が更に深まり、自分の今後について見つめ直すよい機会となりました。これをきっかけにより高い目標を持ち、これからも人とつながりながら人と自然をつなぐかけはしとなるような活動を深めていきたいと思えます。

来年度は「森林再生コース」「国際交流コース」「里山文化コース」を開講します。6月募集です。

平成20年度 海上の森 「体験学習プログラム」

平成20年度の「海上の森体験学習プログラム」の日程が決定しました。森の教室、里の教室等、計12プログラム55回の実施を予定しております。

森の教室

『森の教室(親子編)』、『森の教室(入門編)』、『森の教室(技能向上編)』

海上の森で学ぶ

『調査学習会』、『ムーアカデミーセミナー』、『森林ボランティア研修』

里の教室(海上の里での農作業体験学習)

海上の森を知る

『里山のものづくり』、『海上の森ツアー』、『森の楽校(がっこう)』、『窯の歴史館学習会』

その他、『協働プログラム』など

プログラムの日程や詳細については、パンフレット「海上の森体験学習プログラム」やチラシ、あいち海上の森センターホームページを御覧ください。皆さまのご参加を職員一同お待ちしております。